



2019年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月7日

上場会社名 オプテックスグループ株式会社
 コード番号 6914 URL <https://www.optexgroup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 小國 勇
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼CFO (氏名) 東 晃
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 077-579-8000

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	27,591	5.9	1,868	50.0	1,814	52.1	1,355	51.5
2018年12月期第3四半期	29,314	6.2	3,737	2.0	3,785	3.0	2,794	7.1

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 906百万円 (63.2%) 2018年12月期第3四半期 2,465百万円 (25.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	36.89	36.81
2018年12月期第3四半期	78.43	78.28

(注) 当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	42,770	31,450	73.2
2018年12月期	43,291	32,345	74.5

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 31,296百万円 2018年12月期 32,230百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		15.00		15.00	30.00
2019年12月期		17.50			
2019年12月期(予想)				15.00	32.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年12月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 記念配当2円50銭

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,500	6.5	2,700	45.9	2,700	46.4	2,000	47.0	54.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(2019年11月7日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期3Q	37,735,784 株	2018年12月期	37,735,784 株
期末自己株式数	2019年12月期3Q	1,394,424 株	2018年12月期	941,631 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期3Q	36,746,612 株	2018年12月期3Q	35,630,172 株

(注) 当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料につきましては、決算発表後一週間以内に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「ベンチャースピリット溢れる企業集団を目指す。」を企業理念とし、「新しいことをやってみよう！」をキャッチフレーズに、すべての部門で新たな取り組みを積極的に進め、グループの求心力を高めるとともにシナジー効果の拡大を図り、更なる成長を目指しております。また、「安全で安心な社会」「快適で効率の良い社会」の実現に向け、グループ全体で大胆に未来を描きながらスピード感を持って事業を推進しております。

当第3四半期連結累計期間は、米中貿易摩擦の影響による中国経済の減速や、スマートフォンの世界需要の頭打ちによる設備投資の抑制が続き、F A事業及びM V L事業が伸び悩んだことと、S S事業の防犯関連の販売が伸び悩んだ結果、売上高は275億91百万円と前年同期に比べ5.9%の減収となりました。利益面につきましても、売上総利益の減少に加え買収会社の販売費及び一般管理費の増加等により、営業利益は18億68百万円（前年同期比50.0%減）、経常利益は18億14百万円（前年同期比52.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億55百万円（前年同期比51.5%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① S S事業

当社グループの主力事業であるS S事業は、売上高145億18百万円（前年同期比5.9%減）、相対的に原価率の高い製品の販売が増加したこと、米中貿易摩擦に伴う追加関税等の影響により原価率が上昇し、営業利益は11億24百万円（前年同期比41.7%減）となりました。

防犯関連につきましては、売上高96億85百万円（前年同期比8.1%減）となりました。国内におきましては、警備会社向け及び大型重要施設向け屋外用センサーの販売が順調に推移した結果、前年同期実績を上回りました。一方海外におきましては、中南米及びヨーロッパでの屋外用センサーの販売が伸び悩んだ結果、前年同期実績を下回りました。

自動ドア関連につきましては、国内向けの販売が伸び悩んだものの、米国の大手自動ドアメーカー向けの販売が順調に推移した結果、売上高は32億72百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

② F A事業

F A事業は、米中貿易摩擦の長期化を発端とする景況感の悪化により、国内外とも半導体・二次電池・電子部品業界等、全体的に設備投資が低調に推移いたしました。この結果、売上高は53億2百万円（前年同期比17.3%減）となりました。営業利益は、経費削減に努めたものの、売上総利益が減少したことにより4億24百万円（前年同期比59.7%減）となりました。

③ M V L事業

M V L事業は、ヨーロッパにおいて買収効果による売上高の増加はあったものの、米中貿易摩擦の長期化の影響で半導体やスマートフォン向けの投資の抑制が続いたことにより、国内での販売が低調に推移いたしました。この結果、売上高は68億94百万円（前年同期比0.7%減）となりました。営業利益は、買収会社の販売費及び一般管理費の増加等により、3億87百万円（前年同期比47.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は427億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億21百万円減少しました。

流動資産は284億44百万円となり、10億86百万円減少しました。これは主に、仕掛品等のたな卸資産が58百万円増加したものの、売上高の減少により受取手形及び売掛金が8億5百万円、現金及び預金が4億81百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は143億25百万円となり、5億65百万円増加しました。これは主に、償却等によりのれんや顧客関係資産等の無形固定資産が2億87百万円減少したものの、ヨーロッパ及びアジアの子会社におけるI F R S第16号「リース」の適用及び当社本社改装等により建物及び構築物が7億40百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は113億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億74百万円増加しました。これは主に、未払法人税等が4億27百万円、支払手形及び買掛金が3億12百万円それぞれ減少したものの、自己株式の取得資金等の借入れにより短期借入金が10億14百万円、ヨーロッパ及びアジアの子会社におけるI F R S第16号「リース」の適用等に伴いリース債務が増加したことにより、その他の固定負債が3億70百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は314億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億95百万円減少しました。これは主に、利益剰余金が1億59百万円増加したものの、自己株式が6億46百万円増加したことと為替換算調整勘定が4億80百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結会計期間の業績は、SS事業におけるアジア向け販売などが予想を下回る水準で推移したことや、同事業の防犯関連の売上原価率も高く推移したことなどにより、予想を下回る業績となりました。

当連結会計年度の業績見通しについては、これらの状況を踏まえ、2019年7月11日に公表いたしました予想値を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2019年11月7日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,563	11,082
受取手形及び売掛金	8,938	8,132
有価証券	201	209
商品及び製品	4,049	3,949
仕掛品	397	572
原材料及び貯蔵品	2,893	2,876
未収還付法人税等	258	210
その他	1,262	1,442
貸倒引当金	△34	△31
流動資産合計	29,530	28,444
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,270	2,011
機械装置及び運搬具(純額)	268	245
工具、器具及び備品(純額)	746	678
土地	2,259	2,379
建設仮勘定	133	229
有形固定資産合計	4,678	5,545
無形固定資産		
特許権	616	552
商標権	658	594
顧客関係資産	1,099	980
のれん	1,321	1,175
その他	548	653
無形固定資産合計	4,243	3,955
投資その他の資産		
投資有価証券	2,880	2,761
長期貸付金	46	38
繰延税金資産	1,320	1,315
その他	638	743
貸倒引当金	△48	△34
投資その他の資産合計	4,837	4,824
固定資産合計	13,760	14,325
資産合計	43,291	42,770

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,997	1,685
短期借入金	1,063	2,078
1年内返済予定の長期借入金	346	1,287
未払金	1,099	1,022
未払法人税等	606	179
賞与引当金	450	634
その他	907	807
流動負債合計	6,470	7,694
固定負債		
長期借入金	1,706	562
繰延税金負債	933	853
再評価に係る繰延税金負債	22	22
退職給付に係る負債	1,219	1,216
役員退職慰労引当金	136	142
その他	456	826
固定負債合計	4,474	3,625
負債合計	10,945	11,319
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,798	2,798
資本剰余金	7,594	7,595
利益剰余金	23,559	23,719
自己株式	△1,658	△2,305
株主資本合計	32,294	31,808
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	39
土地再評価差額金	△5	△5
為替換算調整勘定	△29	△509
退職給付に係る調整累計額	△34	△35
その他の包括利益累計額合計	△63	△511
新株予約権	107	146
非支配株主持分	7	7
純資産合計	32,345	31,450
負債純資産合計	43,291	42,770

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	29,314	27,591
売上原価	12,948	12,722
売上総利益	16,366	14,868
販売費及び一般管理費	12,628	13,000
営業利益	3,737	1,868
営業外収益		
受取利息	23	32
受取配当金	31	20
持分法による投資利益	30	-
投資有価証券売却益	-	1
投資事業組合運用益	1	3
受取賃貸料	17	17
保険返戻金	-	9
その他	38	37
営業外収益合計	142	121
営業外費用		
支払利息	8	10
為替差損	44	130
賃貸費用	10	8
投資有価証券売却損	9	-
その他	21	25
営業外費用合計	95	175
経常利益	3,785	1,814
特別利益		
固定資産売却益	4	2
投資有価証券売却益	384	-
特別利益合計	388	2
特別損失		
固定資産除売却損	5	1
関係会社整理損	-	7
特別損失合計	5	9
税金等調整前四半期純利益	4,169	1,808
法人税、住民税及び事業税	1,199	553
法人税等調整額	△12	△100
法人税等合計	1,187	453
四半期純利益	2,982	1,355
非支配株主に帰属する四半期純利益	187	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,794	1,355

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	2,982	1,355
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△281	33
為替換算調整勘定	△234	△480
退職給付に係る調整額	△0	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	-
その他の包括利益合計	△516	△448
四半期包括利益	2,465	906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,304	907
非支配株主に係る四半期包括利益	161	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年8月5日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の取得について決議し当該決議に基づき自己株式を取得いたしました。これを主な要因として、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が646百万円増加しております。なお、当該決議に基づく自己株式の取得については、2019年10月31日をもって終了しております。

(会計方針の変更)

一部の海外連結子会社は、第1四半期連結会計期間より I F R S 第16号「リース」を適用しております。当該会計基準の適用により、建物及び構築物が438百万円、機械装置及び運搬具が16百万円、流動負債その他が83百万円、固定負債その他が375百万円増加しております。なお、当該会計基準の適用が当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SS 事業	FA 事業	MVL 事業	EMS 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	15,434	6,412	6,942	358	29,147	167	29,314	—	29,314
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	38	11	3	4,742	4,795	28	4,824	△4,824	—
計	15,472	6,423	6,945	5,101	33,943	196	34,139	△4,824	29,314
セグメント利益又 は損失(△)	1,929	1,052	731	215	3,928	7	3,935	△197	3,737

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、ソフトウェア開発及びスポーツクラブの運営等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△197百万円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SS 事業	FA 事業	MVL 事業	EMS 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	14,518	5,302	6,894	444	27,160	430	27,591	—	27,591
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	80	3	10	6,203	6,298	32	6,330	△6,330	—
計	14,598	5,306	6,905	6,647	33,458	463	33,921	△6,330	27,591
セグメント利益又 は損失(△)	1,124	424	387	△6	1,930	18	1,949	△80	1,868

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、ソフトウェア開発及びスポーツクラブの運営等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△80百万円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。